

選択科目(数学)

全学統一方式(文系)、学部個別配点方式(文系型)

〈出題内容・形式・配点〉※出題内容、問題番号、配点は2月1日実施分のものです。

内容	形式	配点	試験時間
I 集合と命題、三角関数、図形と2次関数	記述	40	80分
II 数列	記述	30	
III 場合の数	記述	30	
合計		100	

【出題の基本方針】

高等学校で学ぶ数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B(ベクトルと数列)の範囲における基礎的な内容の習得や知識・理解の程度を判定し、本学の文系学部で学ぶために必要な論理的思考力や直観力、表現力等を評価することを目的としている。

問題は、受験生が学ぶ教科書の例題および応用問題(章末問題)を参考にしている。特に大問Ⅱでは読解力や数学的に考える力、大問Ⅲでは、思考過程を論理的に表現する力を問う問題としている。

【学習のポイント】

- ・教科書の例題や応用問題(章末問題)を丁寧に解くことが重要である。
- ・解答数の多さに惑わされず、順序だてて解答してほしい。基礎的な問いから始まっていることから、途中であきらめないで解答してほしい。
- ・大問Ⅰは、基礎的な問題として、教科書の例題や章末問題を丁寧に取り組むことで十分解答できる問題である。
- ・大問Ⅱは長文問題としていることから読解力が求められるが、学習内容を社会の現象と関連づけて理解すれば難しい問題ではない。特に数学的に考える力(思考力)、判断力を評価している。(例えば、昨年度の問題については、数列では、銀行で預金する場合の利息を計算する学び、三角関数では建物の高さを実際に計算する学び、確率では工場での作業工程で不良品が出る確率を考える学び等が挙げられる。)
- ・大問Ⅲは、教科書の応用問題(章末問題)や問題集の中難度の問題に取り組むことによって十分解答できる。基礎的な内容から応用へと思考過程を順序だてて記述(論理的に表現)する学びをしてほしい。